

# 勇敢に飛び込め

555人が旅立つー学院大・短大卒業式

平成22年度の金沢学院大学大学院学位記授与式並びに大学・短大の卒業証書・学位記授与式は、3月19日、金沢歌劇座で行われ、合わせて555人が清鐘台の学び舎を巣立ちました。式典では、参列者全員で東日本大震災の被災者に哀悼の意が示され、被災地の復興を祈りました。



卒業証書を受ける大学美術文  
化専攻科代表  
＝金沢歌劇座

## 相手の目を見て話そう

梶木裕学長が短大2学科、同専攻科、大学8学科、同美術文化専攻科、大学院経営情報研究科、人文学研究科の各代表14人に卒業証書、修了証書、学位記を授与しました。学業成績優秀者30人に対する学長褒賞が短大・大学の代表5人に、スポーツ功労者としてトランポリン部の伊藤正樹君（経営情報学部スポーツビジネス学科）に学長表彰が贈られました。

梶木学長は式辞で、デンマークの思想家キルケゴールの言葉「さあ、こい。勇敢に飛び込め。よしんば軽率な飛躍であっても、果敢でさえあれば、まずはそれでよいのだ」を引用し、「失敗を恐れず挑戦してほしい」とエールを贈りました。

飛田理事長は告辞で、対面し目を見て話をするこの大切な目に触れ、「その人のものの見方や考え方が、人となりになじかに触れる

ことができる。会話をすることは知識や教養が必要。新聞に目を通し、本を読む習慣を身につけてほしい」と要望しました。

答辞で、短大卒業生代表の茨友恵さん（ライフデザイン総合学科）は「写真」は「本学で学んだ教育理念『創造』をモットーにこれからも向上心を持ち続けていきたい」、また、大学卒業生代表の古川夢乃さん（文学部国際文化学科）は「写真」は「卒業で勉強が終了するわけではない。困難を恐れず未来を『創造』していきましょう」と、抱負を述べました。



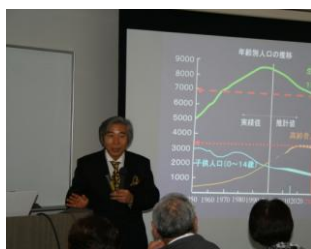
式終了後、「卒業記念の集い」が金沢ニューグラインドホテルを会場に開催されました。卒業生はお世話になった先生方を囲

み、感謝を述べると共に学生生活の名残を惜しんでいました。

### 「メタボ対策」講座

北國新聞社との共催事業の「北國健康生きがい支援事業」平成22年度第2回金沢学院プログラム講座は3月5日、南町中央ビル6階金沢学院サテライト教室で催されました。平下政美教授が「子供から中高年まで待ったなし、急ごうよ、メタボ対策」という演題で、正しい運動と適切な食事などによる糖尿病や高血圧、脳卒中等の予防について講演しました。

昨今の「健康志向ブーム」を反映して、定員を超える約60人の受講生が来場しました。講演終了後も真剣な質問が続きました。講演内容は、3月29日北國新聞朝刊で紹介されました。



講演する平下教授  
＝サテライト教室

### 東高校の香林坊教室 オープン

金沢学院東高校香林坊教室が3月26日オープンしました。

東高校の香林坊教室は、北國新聞社と日本銀行金沢支店の中間に位置する複合ビル「香林坊ラモーダ」の最上階、9階にあります。教室の窓からは、繁華街のビル越しに金沢城辰巳櫓跡や医王山の山並みが見渡せる恵まれた環境にあります。教室の利用は、平日には主として北國新聞文化センター講師による体育ダンス・ヨガ実習、英会話講座などで、土曜日は、進学特別コースの「土曜授業」が行われる予定です。

### 北國広告賞受賞

金沢学院新聞広告「オープンキャンパス」が北國広告賞銅賞を受賞しました。3月23日、北國新聞交流ホールで贈呈式が行われました。